

=====

～ 日本肺循環学会ニュース ～

第4号 (2013/3/5)

<http://www.convention.co.jp/jpcs/>

=====

1. 第2回学術集会について

第2回学術集会は、伊藤正明会長（三重大学）の下、平成25年6月22日（土）～23日（日）に東京で開催されます。

学術集会のHPは、こちらです。

<http://www2.convention.co.jp/jpcs02/>

演題募集は締め切りました。

多数のご応募ありがとうございました。

現在予定しております主なプログラムは以下の通りです。

スポンサードシンポジウム1

『Out of proportion を含めた呼吸器疾患関連肺高血圧症』

座長： 巽 浩一郎（千葉大学大学院 医学研究院 呼吸器内科学）

花岡 正幸（信州大学医学部 内科学 第一講座）

Keynote Lecture: Prof. Marc Humbert (Universitaires Paris, France)

スポンサードシンポジウム2

『肺高血圧発症の分子生物学的アプローチ』

座長： 下川 宏明（東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学）

瀧原 圭子（大阪大学保健センター/大阪大学大学院医学系研究所 循環器内科学）

Keynote Lecture: Prof. Marlene Rabinovitch (Stanford University, USA)

スポンサードシンポジウム3

『肺動脈性肺高血圧症治療の最前線』

座長： 渡邊 裕司（浜松医科大学 医学部 臨床薬理学講座）

伊藤 浩（岡山大学大学院医歯薬学総合研究所 循環器内科）

Keynote Lecture: Prof. Lewis Rubin (University of California, San Diego, USA)

シンポジウム1

『膠原病関連 PAH の治療戦略』

座長： 山田 秀裕（聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科）

桑名 正隆（慶応義塾大学医学部 リウマチ内科）

シンポジウム2

『慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対する血管内治療の現状と展望』

座長： 佐藤 徹（杏林大学医学部 循環器内科）

松原 広己（独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 循環器科）

パネルディスカッション

『アイゼンメンジャー症候群の肺高血圧の内科的治療と管理』

座長： 佐地 勉（東邦大学医療センター大森病院 小児科）

八尾 厚史（東京大学 保健・健康推進部健康管理室）

教育講演

『肺血栓塞栓症に対する新規抗凝固薬の展望（仮）』

演者： Prof. Sam Schulman (McMaster University, Canada)

2. 症例登録研究の登録状況について

2013/2/28 現在の登録状況をお知らせします。

【総登録数】 241 例（4 施設）

登録施設：

1. 東北大学病院 循環器内科 217 例
2. 佐賀大学医学部 循環器・腎臓内科 15 例
3. 京都府立医科大学 循環器・腎臓内科 6 例
4. 兵庫医科大学 循環器内科 3 例

3. 症例登録研究の参加について

以前送付いたしました資料をご覧いただき、是非研究への参加をご検討ください。
ご参加いただける場合は、倫理委員会承認後に学会事務局までご連絡ください。
ID/パスワードを発行させていただきます。

※このメールは日本肺循環学会に e-mail アドレスを登録されている会員に配信しております。